

松本秀峰中等教育学校

先進的6年一貫教育

平成22年に開校した県内唯一の「中等教育学校」。個々の進路目標を見据えた6年間一貫のカリキュラムで、知性や国際性を備えた人間性豊かな人材の育成を目指している。

未来の日本や世界をリードする人材育成を目指す建学の精神を具現化するため、「特性・個性・才能の発見と育成」「国際性の育成」など7つの教育目標を掲げる。中でも既存の教育体制を根本的に見直した授業改革に力を注いでおり、効果的な授業プログラムや電子黒板など最新設備を導入した学習環境で、生徒たちの習熟度を考慮した授業編成を行っている。昨年度卒業した第1期生

は、東京大学や国立大医学部を始め難関大学に多数進学している。

4学年（高校1年相当）は、海外研修で英国を訪ねる。例年、ケンブリッジ大学で教員や大学院生の指導のもと研修を重ね、英語での表現力に加えて、論理的・批判的思考力を養う。帰国後は全生徒が研修の報告を英語で行い、各々が研修を通してより明確にした将来の展望を語る。

部活動も活発で、毎年まつもと市民芸術館で定期演奏会を行うオーケストラ部、病院訪問や自然観察のフィールドワークを行う医学生物部等、個性あふれる部活動も特徴的だ。



4学年海外研修 ケンブリッジ大学でのアクティブ・ラーニング